

2026年4月4日

北海道日本ハムファイターズ 山崎福也選手とともに 小児がんの子どもたちとそのご家族を応援 ～2026 シーズンの登板イニングに応じた寄付もスタート～

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏、以下「アフラック」）は、2026年度も北海道日本ハムファイターズの山崎 福也（やまさき さちや）選手とともに小児がん啓発活動に取り組みますのでお知らせします。



当社は、小児がんに関する正しい理解の促進と支援の輪の拡大を目的に、長年にわたり啓発活動を展開してきました。2025年4月には、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント（代表取締役社長：前沢 賢）とパートナーシップ契約を締結し、山崎選手とともに、小児がんの子どもたちとの交流会などを実施しています（別紙参照）。

今年度は新たな取り組みとして、山崎選手の登板イニング数に応じた寄付プログラムを開始します。これは、山崎選手が「公式記録に基づく登板イニング数×1万円」をアフラックキッズサポートシステム*および公益財団法人ゴールドリボン・ネットワークに寄付するものです。寄付金は、小児がんの子どもたちやご家族への支援に役立てられます。

なお、本日の「北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ」では、小児がん啓発イベント「アフラックゴールドリボンデー」を開催します。本イベントでは、北海道大学病院を通じて招待した小児がんの子どもたちによる始球式、山崎選手からのメッセージ動画の場内放映、小児がん啓発のためのオリジナルグッズの抽選プレゼントなどを予定しています。

<山崎選手のコメント>



2025年から、アフラックさんと一緒に小児がんに向き合う子どもたちへの支援活動に取り組んでいます。一緒に訪問した施設の子どもたちとの交流を通じて、僕の活躍を楽しみにしてくれている声をたくさん聞いて、逆に勇気や元気をもらいました。優勝に向かって1イニングでも多く投げることでチームに貢献し、新たにこの寄付活動に取り組むことで小児がんの支援の輪を広げて子どもたちの笑顔につなげていきたいと思っています。

当社はこれからも、小児がんをはじめ、がんを経験された方が自分らしく安心して生きていける社会の実現を目指して、社会と共有できる新たな価値を創造することで、ステークホルダーの皆様からの負託と信頼に応えていきます。

* アフラックペアレンツハウス及びアフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度の安定的な運営を目的とした当社独自の社会貢献プログラム

■山崎福也選手（18 投手） プロフィール

生年月日：1992年9月9日（33歳）

身長／体重：188cm／99kg

出身地：埼玉県

投打：左投げ／左打ち

経歴：日大三高・明治大・オリックス（ドラフト1位・15～23）・北海道日本ハム（24～）

<小児脳腫瘍の闘病経験について>

2007年11月高校進学前の検査で「小児脳腫瘍」が判明。翌2008年に北海道大学病院で腫瘍全摘出手術をうけ、不屈の精神で1週間後退院。プロ入団後も毎年オフシーズンには検査を受診している。

■山崎選手と取り組む小児がん啓発活動

<登板イニング数に応じた寄付プログラム>

山崎選手が「公式記録に基づく登板イニング数×1万円」をアフラックキッズサポートシステムおよび公益財団法人ゴールドリボン・ネットワークに寄付するものです。

<アフラックゴールドリボンデー>

当社では、2006年から企業としてはじめて小児がんへの支援を目的とした「ゴールドリボン運動」に賛同しています。4月25日は「小児がんゴールドリボンの日」（4：しょう、2：にがん、5：ゴールドリボン）と制定されていることから、当社は4月をゴールドリボン推進月間として、小児がんの子どもたちへの理解と支援の呼びかけを強化しています。この一環として、「アフラックゴールドリボンデー」を開催します。

開催日時：2026年4月4日（土） 14：00 試合開始

対戦カード：北海道日本ハムファイターズ VS オリックス・バファローズ

開催場所：エスコンフィールド HOKKAIDO

<https://www.hkdballpark.com/access/>

<ゴールドリボンウオーキング>

「ゴールドリボンウオーキング」（主催：ゴールドリボンウオーキング実行委員会）は、2007年にスタートした小児がんの子どもたちとご家族を応援するチャリティーイベントです。当社は、小児がんに関する啓発活動の一環として、特別協賛しており、当日は、山崎選手からの応援メッセージを会場で放映し、小児がんへの理解促進を図ります。

【ゴールドリボンウオーキング 2026 の概要】

開催日時：2026年4月18日（土） 10：00～13：30 終了（予定）小雨決行

開催場所：お台場・シンボルプロムナード公園 セントラル広場および その周辺

<https://gold-ribbon.jp/>

<アフラックペアレンツハウスや小児がん診療病院等への訪問>

シーズンオフには、山崎選手がアフラックペアレンツハウスや小児がん診療病院等へ訪問し、子どもたちやご家族と交流する予定です。

■当社の小児がん支援に関する活動について

当社は、小児がん経験者が笑顔で暮らせる社会を目指し、以下の活動を展開しています。

活動名	概要
<p>アフラック ペアレンツハウス</p>	<p>小児がんなどの難病のため、自宅から離れた病院で治療を受ける子どもとご家族が1人1泊1,000円（患児は無料）で宿泊できる施設です。亀戸、浅草橋、大阪の3棟でこれまで延べ16万人以上の方々にご利用いただいています。</p> 
<p>アフラック 小児がん経験者・ がん遺児奨学金制度</p>	<p>親をがんで亡くした高校生や小児がんを経験した高校生を対象とした返還不要の奨学金制度です。これまでに支援した奨学生は、累計3,817人（2025年6月時点）にのぼり、奨学金給付額は累計で22億円を超えています。</p>
<p>My Special Aflac Duck®</p>	<p>さまざまな課題を抱える小児がんの子どもたちを応援するために、米国で開発されたアヒル型ロボットで、子どもたちに代わり感情を表現することができます。これまでに約1,778羽（2025年12月末時点）を小児がんの治療に取り組む病院等に寄贈しました。これらの取り組みが評価され、2025年に第19回キッズデザイン賞を受賞しました。</p> 
<p>ゴールドリボン運動</p>	<p>2006年に企業としてはじめて「ゴールドリボン*運動」に賛同し、ウォーキングイベントや募金活動などを通じて、小児がんと闘う子どもたちへの理解促進や治癒率向上に向けた活動を支援しています。</p>  <p>*ゴールドリボンは小児がんへの支援を表すシンボルマークです</p>
<p>アフラック クラシックチャリティー コンサート</p>	<p>小児がんと闘う子どもたちやご家族を応援することを目的に毎年開催しています。コンサート会場では来場者が小児がんについて知り、理解を深めることができるよう、小児がんの子どもたちが制作した作品の展示などを行っています。</p>